

福寿草を見るはずが、雪山山行となった

春山 御池岳山行

2017年4月1日(土)

<参加メンバー> 7人(男性3人、女性4人)

<天候> 曇り

<コースタイム>

JR宝塚駅前 7:35 発 ~ 登山口(道路の閉鎖地点)
9:40 着、10:05 発 ~ 高圧鉄塔下 10:38 ~ 鈴北岳頂上 12:33 ~ 御池岳頂上 13:45 ~ 鈴北岳頂上 14:30 ~ 高圧鉄塔下 15:45 ~ 登山口(道路の閉鎖地点) 16:10

<山行の概要>

初春の山野草を代表する福寿草を愛でに行こうと企画された山行だったが、あいにくの雪?のため、花どころかまったくの雪山山行となった。

道路が土砂崩れのため、本来のコースの大分手前からの取り付きとなったが、しばらく関電の管理道を伝っていくと徐々に雪は深くなり、上部は完全に雪山状態であった。前日に降った雨が山では雪となり、樹(霧)氷がとても綺麗で、今年は4月に入ってから雪山が楽しめてラッキーだった。雪のお陰で御池岳ピストンは比較的楽に行けた。



1. 土砂崩れで閉鎖されているところに車を止めて、スパッツ履いて、いざ出発だ



2. 落石が一杯の林道を進む



3. 林道にもう雪が出てきた



4. 林道からの関電の管理道の取り付き。いきなりの急登である



5. 樹林の中の気持ちの良い道を進む



6. 遠くの山の上は昨日の雪で白く綺麗に化粧していた



7. 関電の管理道はここまで。ここから先は樹林の中の急な道を進む



8. 遠くの山の樹氷がとても美しい



9. 道に雪が... 昨日の雪だ



10. 徐々に雪が深くなってきた



11. もう完全に雪山だ



12. 思いがけない雪に包まれて、福寿草は見れないが雪のお陰で、誰も文句は言わない



13. 樹林を出て、尾根に出た



14. 快適な雪の尾根歩きが続く



15. 吹きだまりに発達した雪庇に明瞭なクラックが走っていた



16. 鈴北岳手前の分岐



17. 鈴北岳頂上に到着。だがガスで視界なし



18. 雪稜を御池岳目指して進む



19. 樹林の中を進む



20. 雪の樹林の中でしばしランチタイム



21. 雪の御池岳頂上に到着
鈴鹿山脈最高峰にしては質素な山頂であった



22. あいにくのガスで視界はないが、記念撮影



23. ここは小雪庇 写真で分かるかな～



24. 登りとは違い、快調に下山していく



25. ショートカットルートで近道する



26. 鈴北岳頂上に戻ってきた。今度はガスが晴れ、雪の靈仙山をバックにパチリ



27. こんなエビの尻尾も・・・昨日は吹雪いていたんだ



28. 途中からアイゼンを装着し、快適な雪の尾根歩きが続く



29. 雪が少なくなってきた



30. 高圧鉄塔下で小休止 登山口はもうすぐ



31. ひっそりと育っていたカンアオイ
この紋所が目に入らぬか！の徳川の葵はこれですよ



32. 登山口近くの川原でアイゼン、スパッツを洗う。今日の山行はこれで終了。お疲れ様！